



芝西中だより～5月号～

【学校教育目標】

「豊かな心を持ち
たくましく生きる生徒」

令和2年5月8日発行

〒333-0856 川口市芝塚原 1-11-13 TEL048-266-5530 FAX048-266-5136

「あたりまえ」と「ありがとう」

校長 星野 泰久

5月7日から学校が再開される予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、5月31日まで延長されることになりました。皆さんには、さらに1か月、自宅での生活・学習をお願いすることになります。自分の命や健康を守る行動が、大切な家族や周りの人の命や健康を守ることにつながり、新型コロナウイルスの感染を止めることになります。生徒の皆さん一人一人が、このことを意識した行動をとってくれることと思います。

臨時休校になってから、「当たり前」について、考えることがよくあります。学校に行けるのが当たり前、学校で勉強できるのが当たり前、友達と会って話ができるのが当たり前、給食が食べられるのが当たり前、部活動ができるのが当たり前。もっと言えば、毎朝目覚めるのが当たり前、毎日食事ができるのが当たり前、自由に外に出られるのが当たり前、生きているのが当たり前…。考えだしたら、きりがなほ、**「当たり前」**だと思ってゐることばかりです。でも、この**「当たり前」**と思ってゐたことが、3月から簡単にはできなくなつてしまいました。できなくなつて、痛いほどわかりました。**「当たり前」**と思ってゐたことは、当たり前ではなく、ありがたいことだったのです。

「当たり前」の反対の言葉は、**「ありがとう」**（有り難い＝当たり前ではない）だと聞いたことがあります。**「当たり前」**だと思ってゐれば、感謝もなく、**「ありがとう」**と言う気にはなれないでしょう。でも、今まで**「当たり前」**だと思ってゐたことに、皆が**「ありがとう」**と言えれば、自分の心も、周りも、少しずつ優しく変わつていくのではないのでしょうか。

ウイルス感染に対する不安と動揺が大きい今だからこそ、それを強く感じます。

家族、友達、近所の人、お店の人…自分を支えてくれる周りの人たちに目を向け、この1か月、身近なところからたくさんの**「ありがとう」**を見つけてほしいと思います。

【ホームページもリニューアル、更新中】

この臨時休校中、急な日程の変更や学習課題や家庭学習の参考資料、生徒への生徒会長や先生方の応援メッセージをアップしています。まだご覧になっていない方は、一度ご覧になってください。

